

令和2年度における 環境目標達成状況

令和3年6月
ISO事務局

達成



未達成

前年度より改善



前年度より悪化



令和元年度

令和2年度

		前年度より改善	未達成	前年度より悪化	令和元年度	令和2年度
各課共通 項目	1	第3次調布市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の 目標達成				
	2	環境確保条例に係るCO ₂ 総量削減義務制度対象施設の 光熱量に伴うCO ₂ 排出量の削減				
	3	グリーン購入の推進				
管財課 項目	1	電気使用の抑制				
	2	ガス使用の抑制				
	3	水道使用の抑制				
	4	可燃物排出量の抑制				
	5	資源化に適さない可燃物排出量の抑制				
	6	不燃物排出量の削減				
	7	資源化に適さない不燃物排出量の削減				

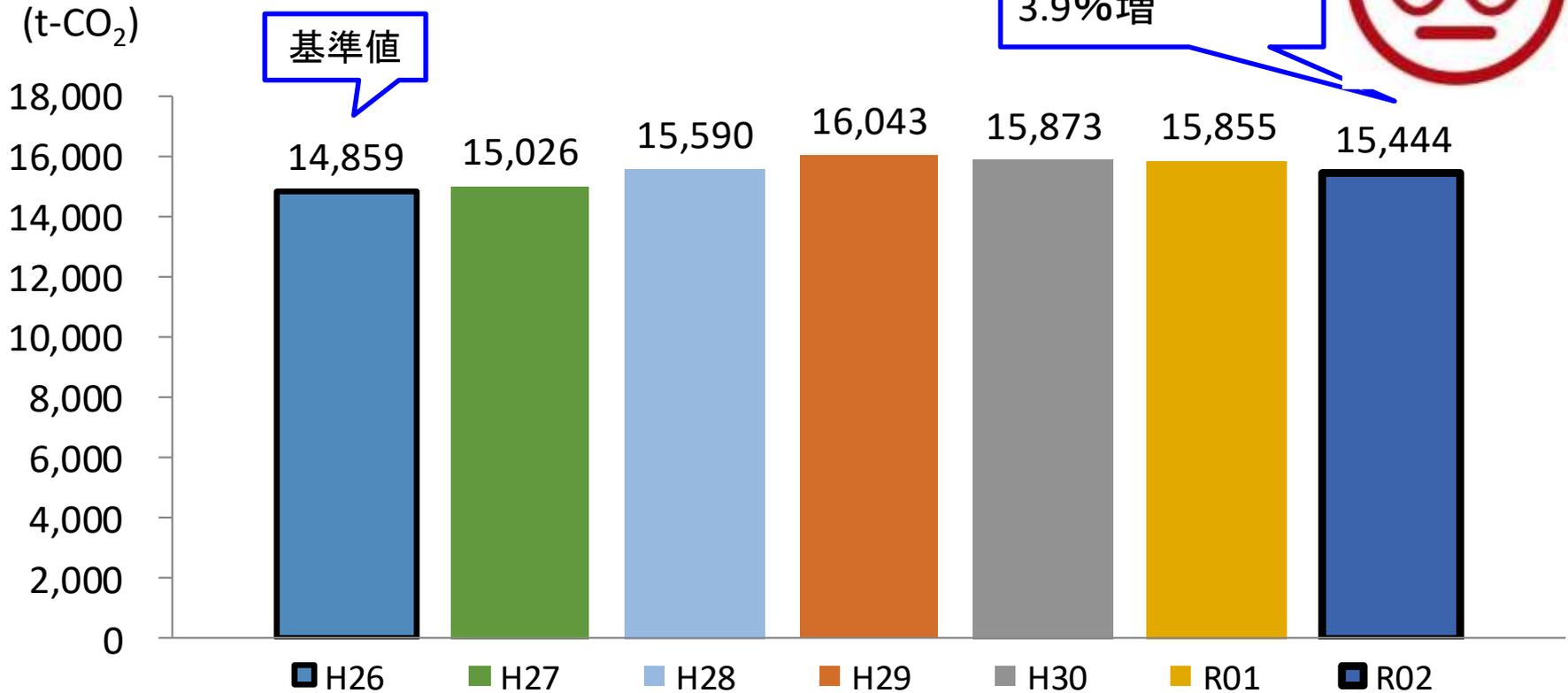
各課共通項目

市の事務事業のCO₂排出量削減

目標:

市の施設や車両から排出される温室効果ガス総排出量をH26年度実績(14,859t-CO₂)から3.2%削減

目標未達成:
基準値に対して
3.9%増



第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)計画期間

【平成27年度～令和2年度における共通のエネルギー使用増加要因】

①空調使用状況の変化

- ・ 全施設：5～6月・9～11月の中間期における空調使用の増加
- ・ 本庁舎：空気循環を促すための空調送風量の増加
- ・ 本庁舎：変則勤務実施による空調運転時間の延長
(運転時間 H26：07：00～17：15, H29～：5：00～18：30(+3.25h))
- ・ 小中学校：増築・クラス数の増加に伴う空調設備新設, 特別教室への空調設備新設, 体育館への空調設備新設
- ・ 学童クラブ：施設の開設に伴う空調設備新設
- ・ スポーツ施設：利用者の増加による空調負荷の増加

②端末使用状況の変化

- ・ 本庁舎：マイナンバー対応に伴うセキュリティ対策によるPC端末の増加
(端末台数 H26：1,566台・R1：2,086台(+520台))

③施設の増加

- ・ 学童クラブ：施設数増加(29⇒41か所 12か所増)
- ・ 障害者施設：H28年度建替えによる規模の増加
- ・ クリーンセンター：H30年度建替えによる規模の増加
- ・ 佐須農の家：H28年度新設
- ・ 防災倉庫新設：H28年度新設
- ・ はしうち教室：R01年度新設
- ・ 小中学校：増築(H29北ノ台小・五中・H30神中・リース(若葉小・二小), 給食室の拡張あり)

【令和2年度におけるエネルギー使用増減要因】

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 窓開けによる換気と空調使用の併用による空調負荷の増加
- ・ 換気設備の使用量増加
- ・ イベントの中止や施設の利用制限によるエネルギー使用の減少

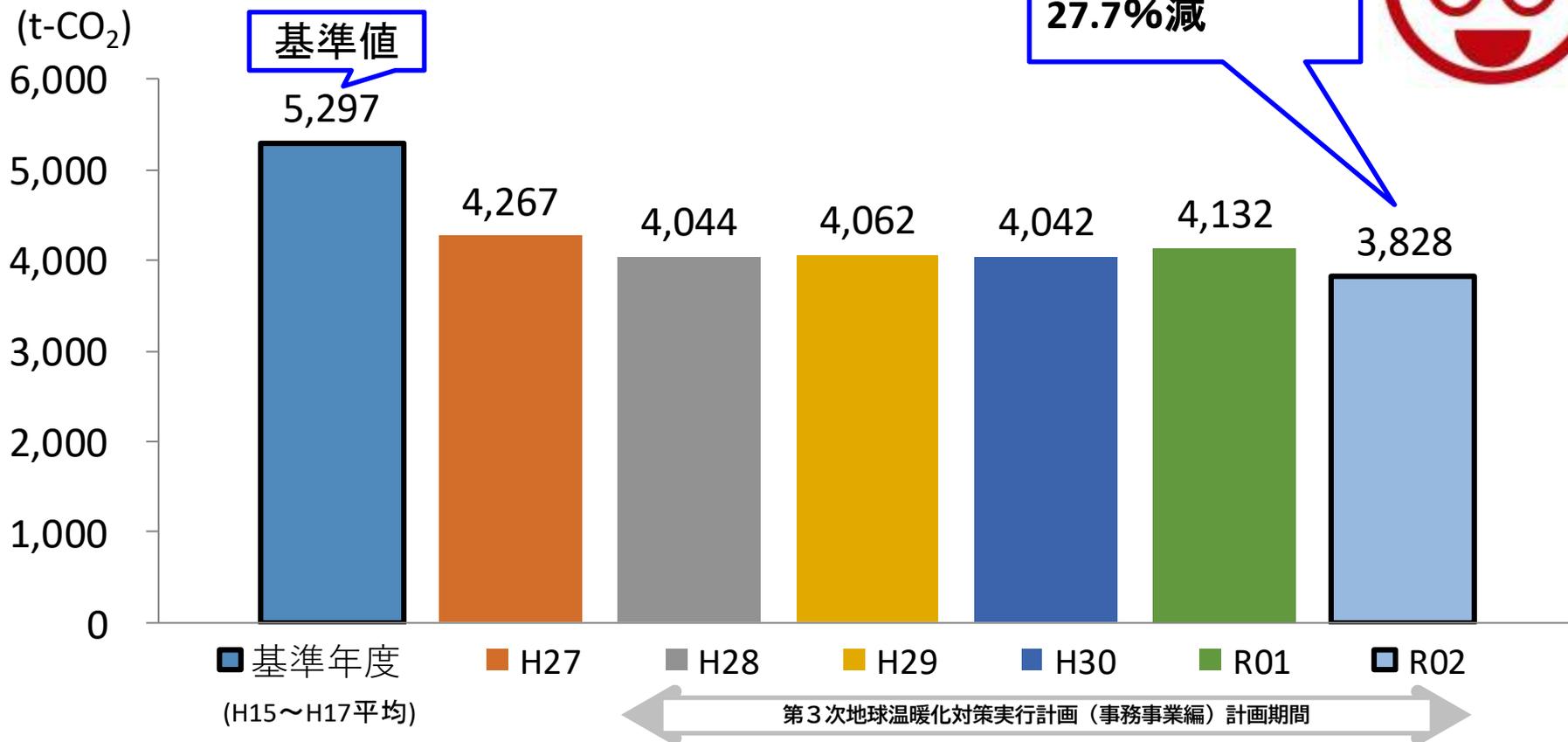
各課共通項目

環境確保条例に係る CO₂排出量削減

目標:

H15～H17年度平均におけるCO₂排出量(5,297t-CO₂)
から27%以上削減

目標達成:
基準値に対して
27.7%減



【対象施設】

- ①文化会館たづくり, ②市庁舎,
- ③グリーンホール, ④総合福祉センター

【平成27年度～令和2年度における目標値の変化】

東京都環境確保条例に係る総量削減義務の計画期間により市に課される削減義務率が変化する。

- ・第二計画期間：H27～R01 平均17%
- ・第三計画期間：R02～R06 27%以上

【平成27年度～令和2年度における省エネ改修工事】

○文化会館たづくり

- ・平成27年度
LED誘導灯の導入
氷蓄熱1次冷水ポンプのインバータ化
アトリウム樹木のフェイク化

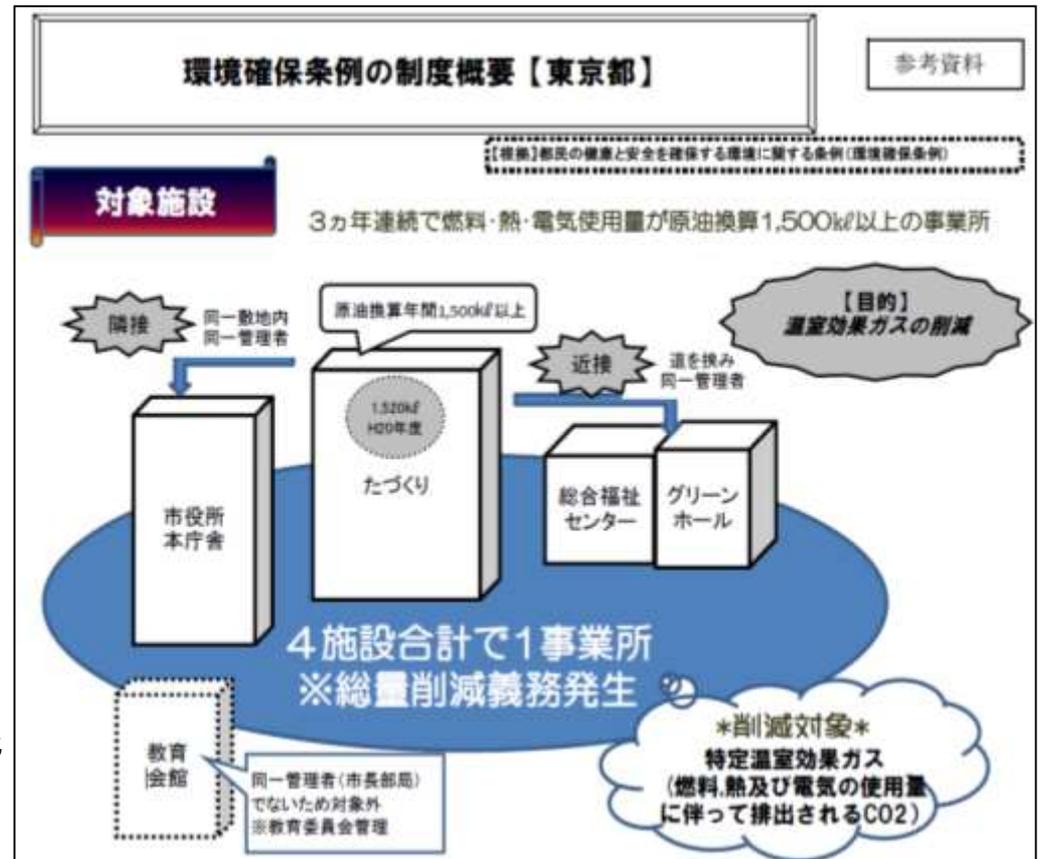
- ・平成29年度
ボイラー制御盤更新

○総合福祉センター

- ・平成27～28年度 空調設備の交換

○グリーンホール

- ・平成27年度 空調動力(ポンプ)のインバータ化

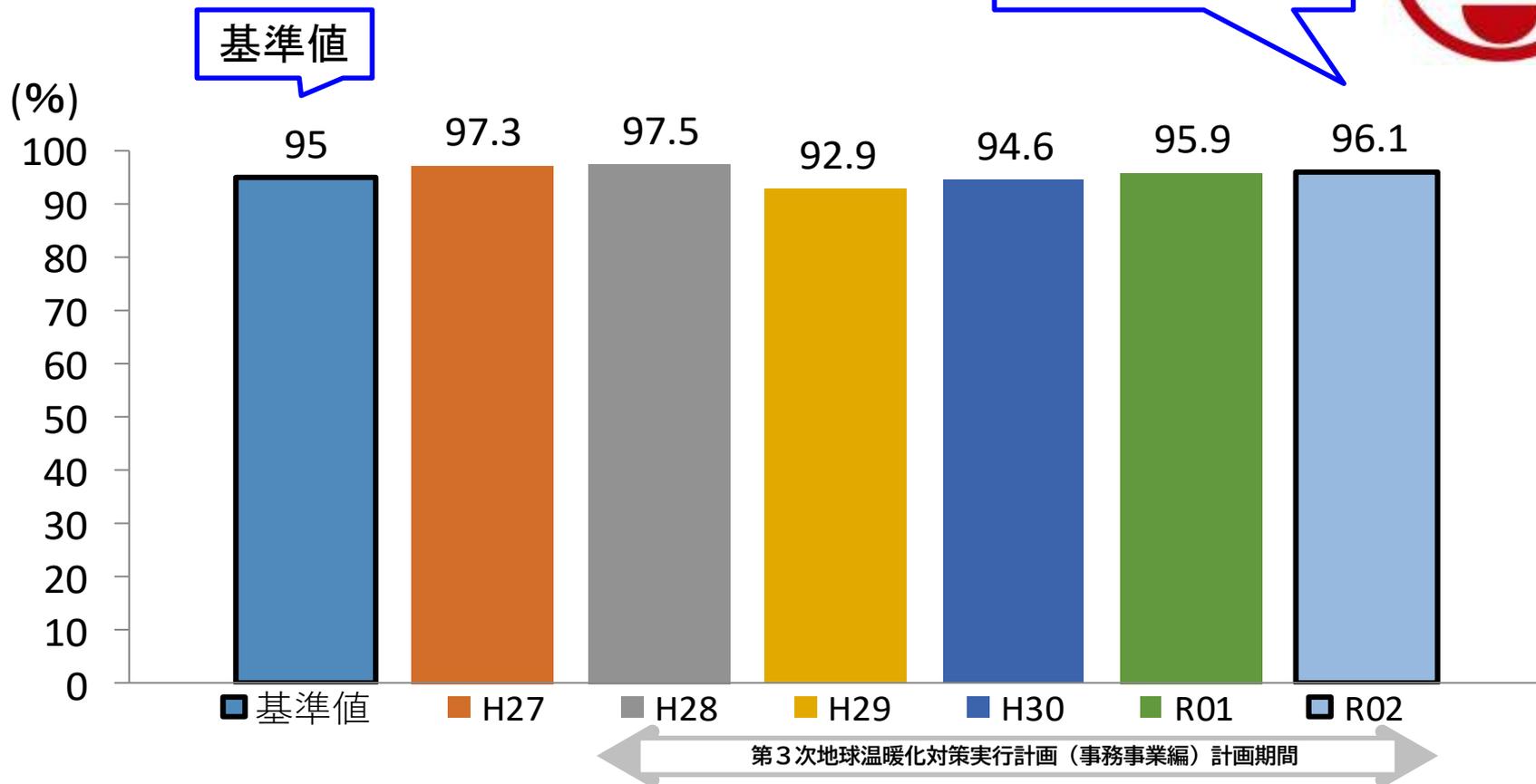


各課共通項目

グリーン購入

目標：
グリーン購入率を95%以上にする

目標達成：
グリーン購入率
95%以上



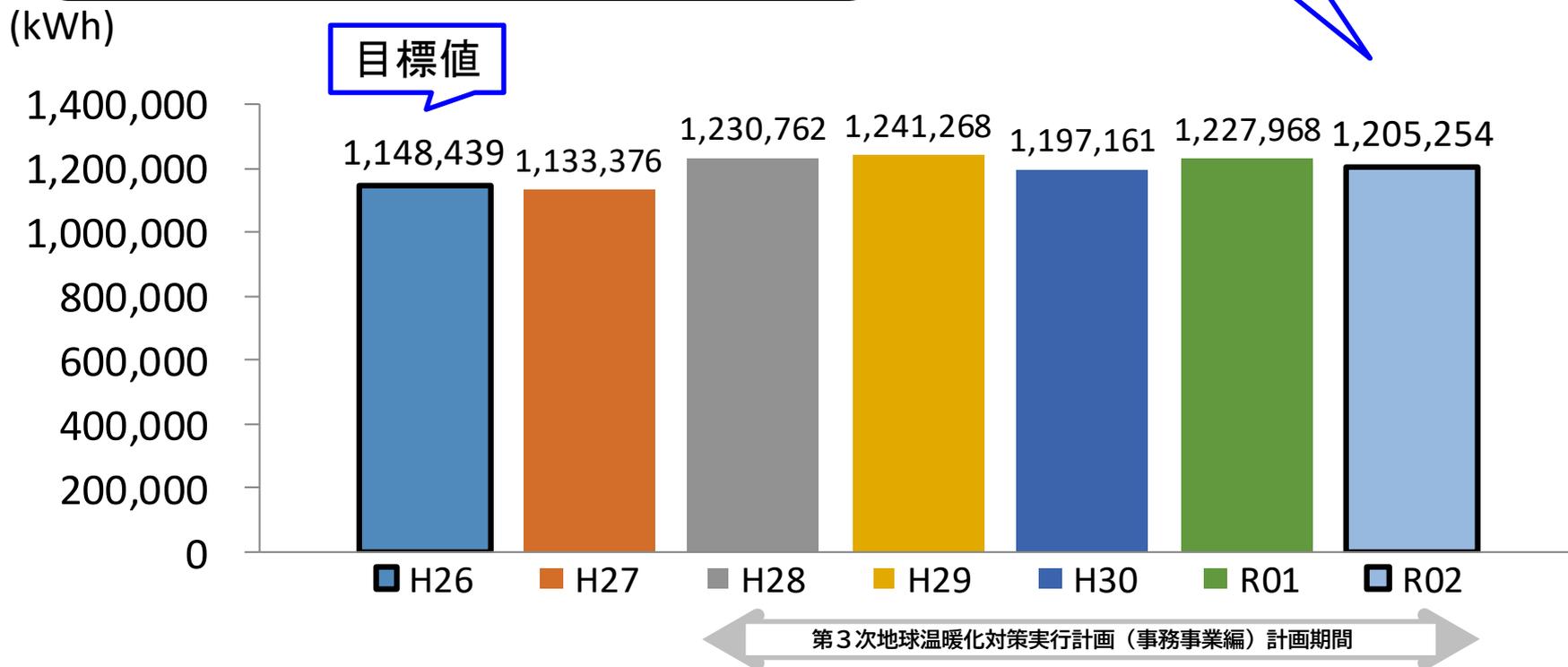
管財課項目

電気

目標：
H26年度における電気使用量(1,148,439kWh)を上回らない
ようにする

- 【平成26年度と比較したエネルギー使用増加要因】
- ◆新型コロナウイルス感染症対策による窓換気と空調使用の併用・強化
 - ・空気循環を促すために空調の送風量を増加したこと
 - ・変則勤務実施による空調運転時間を延長したこと
 - ・マイナンバー対応に伴うセキュリティ対策によるPC端末を増やしたこと
- ※イベントや休日利用の縮減により、令和元年度比では減っている。

目標未達成：
目標値に対して
4.9%増

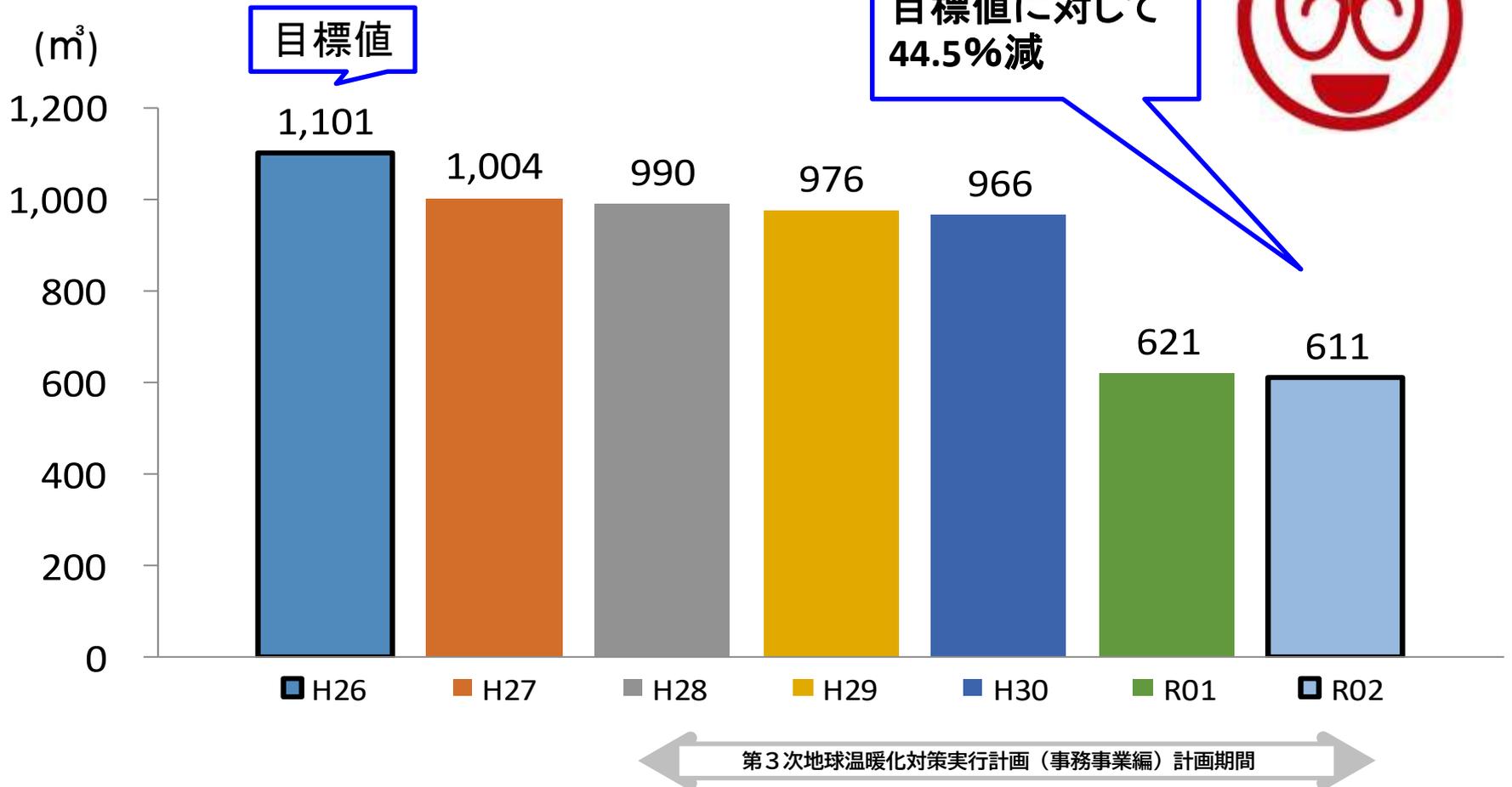


管財課項目

ガス

目標:

H26年度におけるガス使用量(1,101m³)を上回らないようにする

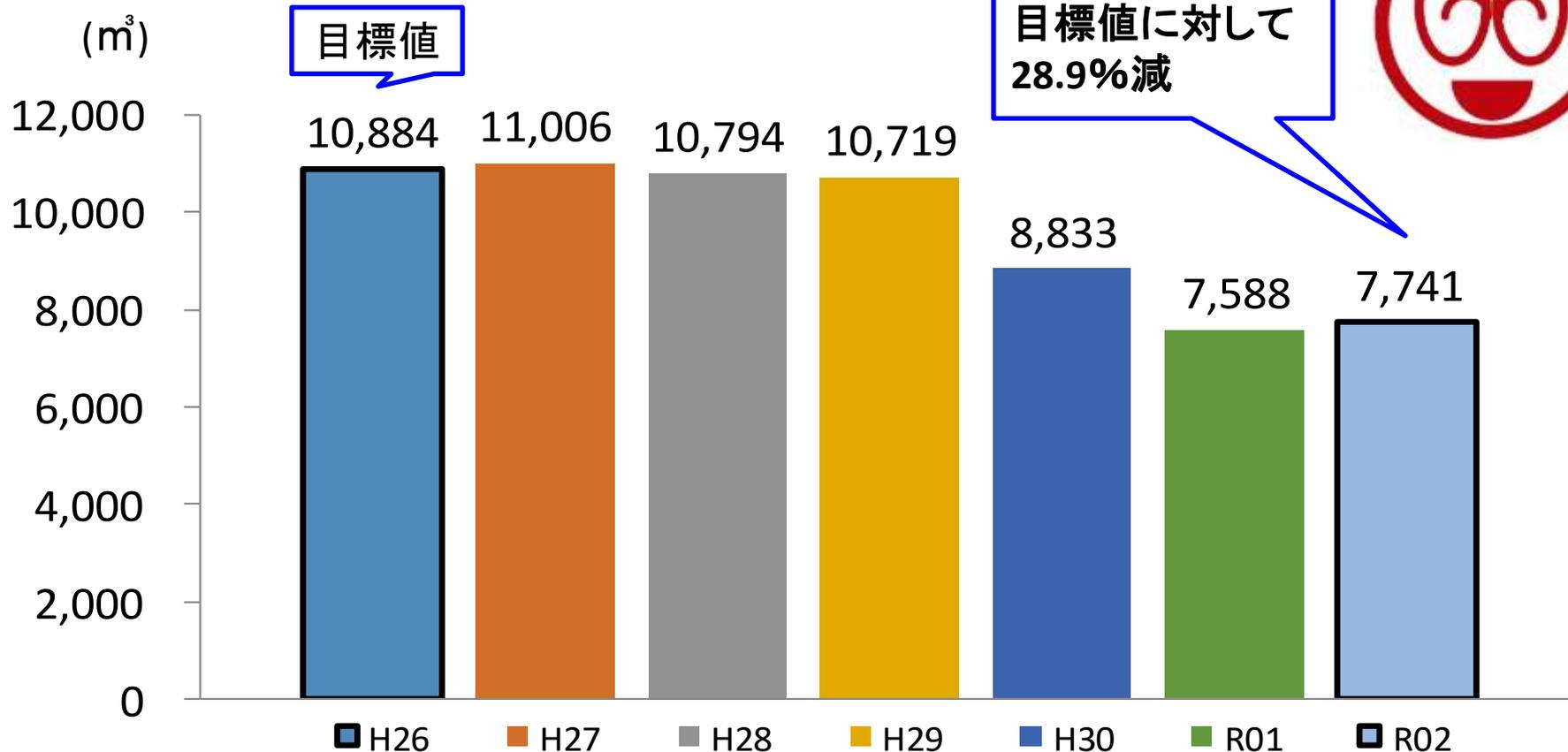


管財課項目

水道

目標:

H26年度における水道使用量(10,884 m^3)を上回らないようにする



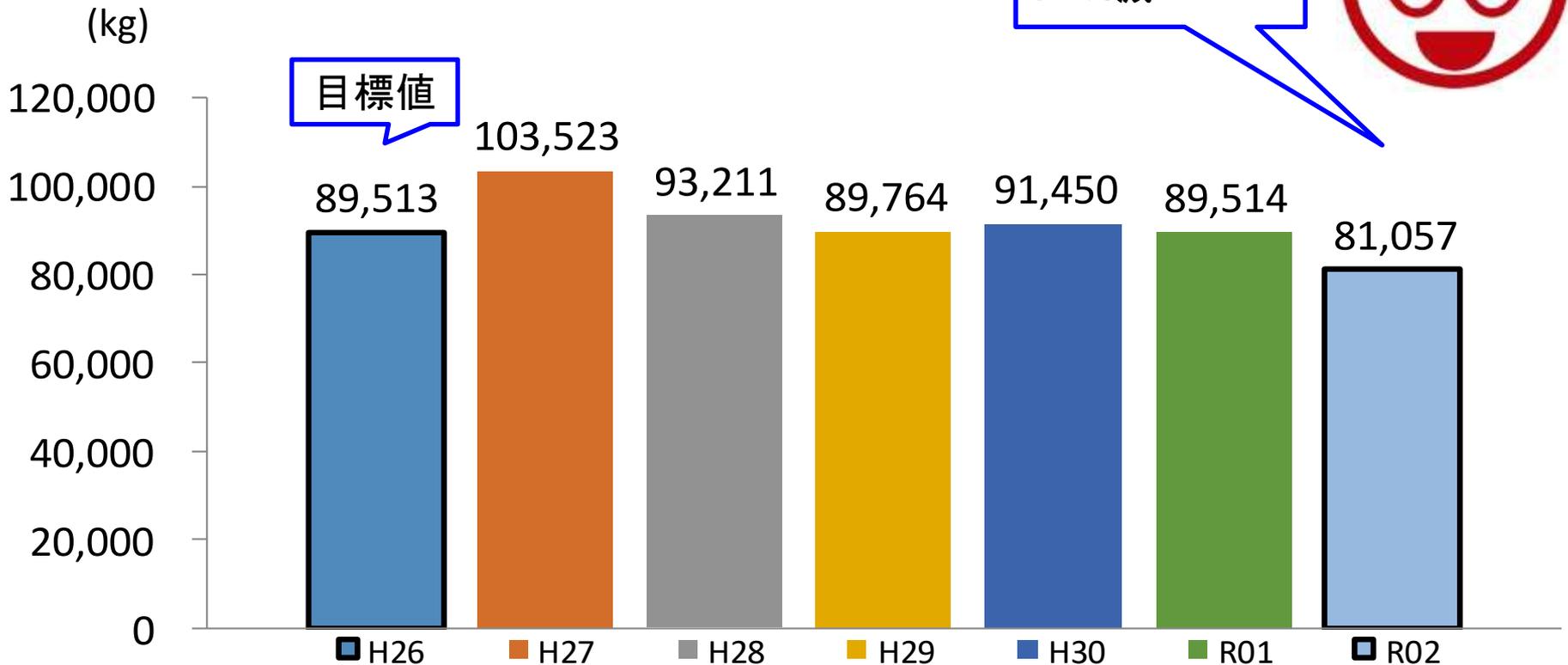
第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）計画期間

可燃物排出量

目標:

H26年度における可燃系ごみの排出量(89,513kg)を上回らないようにする

目標未達成:
目標値に対して
9.4%減



第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）計画期間

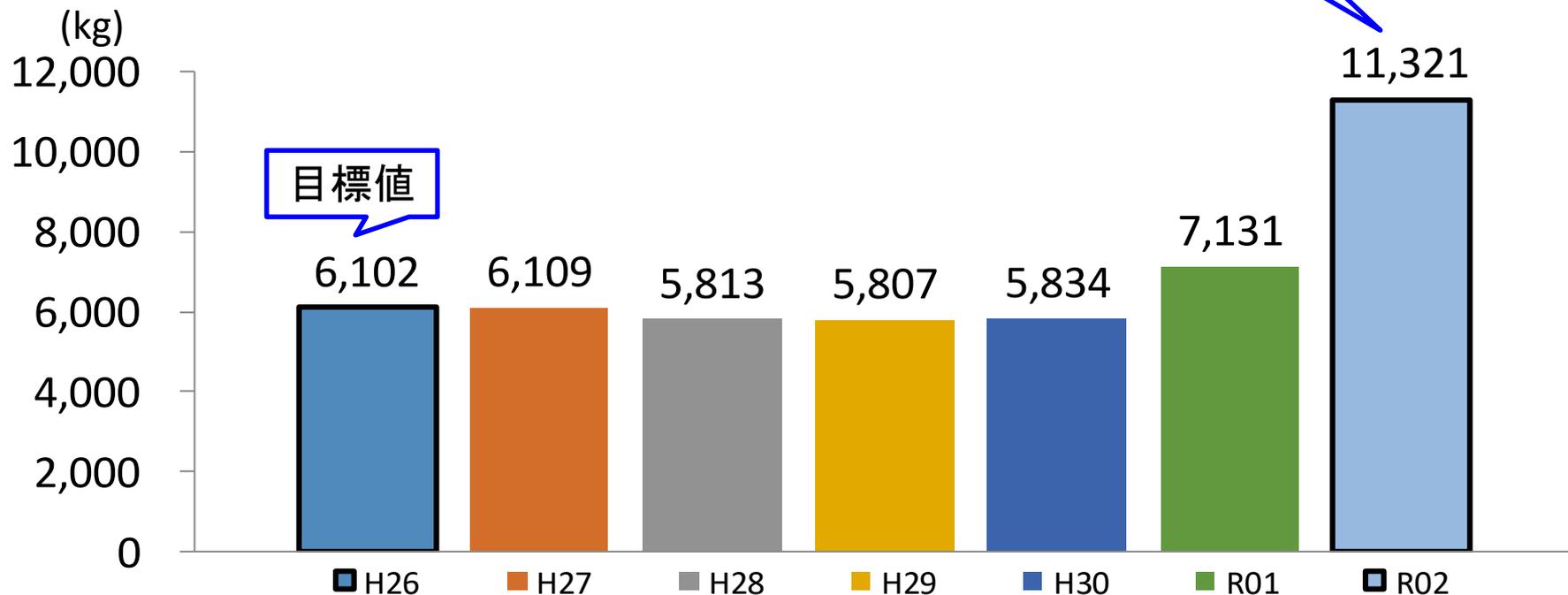
資源化に適さない 可燃物排出量

目標:

H26年度における資源化に適さない可燃物
排出量(6,102kg)を上回らないようにする

【平成26年度と比較したごみ増加要因】
・令和元年から色紙を可燃物として廃棄するようになったこと
一方で、可燃物排出量の「総量」は、職員一人一人の行動により、目標値を達成している。

目標達成:
目標値に対して
85.5%増



第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）計画期間

管財課項目

不燃物排出量

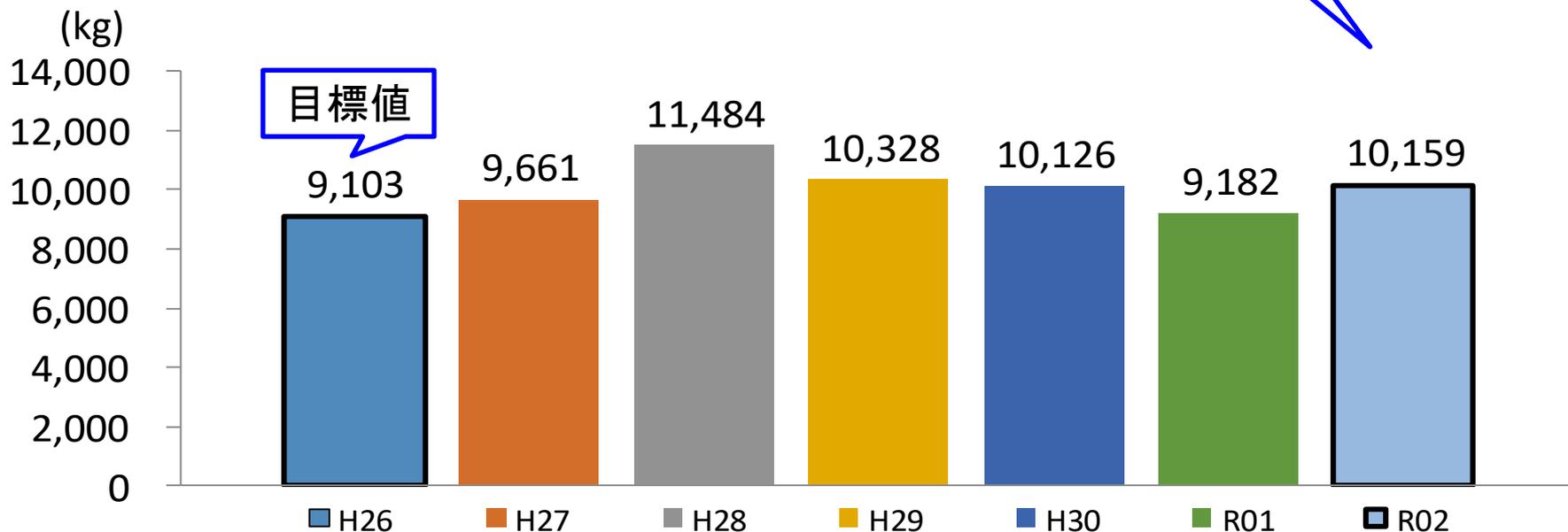
目標:

H26年度における不燃系排出物排出量(9,103kg)
を上回らないようにする

【平成26年度と比較したごみ増加要因】

- ・電子化により不要となった書類に伴うバインダーの排出が増えたこと
 - ・倉庫整理や課内整理において不用品の排出が増えたこと
 - ・プラスチック(H26比:424kg増)、その他不燃物(H26比:1697kg増)が増加している。
 - ・市庁舎免震工事・狭あい化対策により事務スペース・ロッカー等に大幅なレイアウト変更があったため、整理の一環で不燃物が排出されたこと
- ※ペットボトルについては、大幅な削減(H26比:650kg減)となっている。

目標未達成:
目標値に対して
11.6%増



第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）計画期間

資源化に適さない 不燃物排出量

目標:

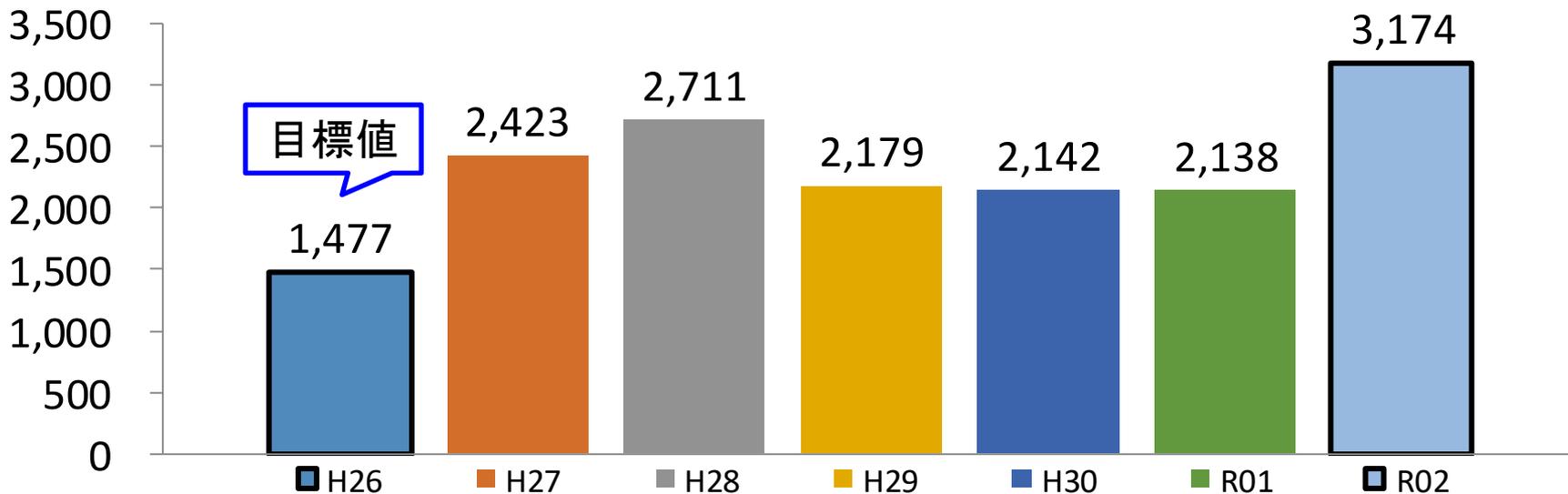
H26年度における資源化に適さない不燃物
排出量(1,477kg)を上回らないようにする

目標未達成:
目標値に対して
114.9%増



【平成26年度と比較したごみ増加要因】

- ・電子化により不要となった書類に伴うバインダーの排出が増えたこと
- ・倉庫整理や課内整理において不用品の排出が増えたこと
- ・市庁舎免震工事・狭あい化対策により事務スペース・ロッカー等に大幅なレイアウト変更があったため、整理の一環で不燃物が排出されたこと



第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）計画期間